

《上級編 目次》

貝殻・・・・・・・・・・・・・・・・	新美南吉	1	檸檬・・・・・・・・・・・・・・・・	梶井基次郎	23
落葉松・・・・・・・・・・・・・・・・	北原白秋	2	オツベルと象・・・・・・・・	宮沢賢治	24
在る日の詩・・・・・・・・・・	山村暮鳥	3	山月記・・・・・・・・・・	中島敦	25
レモン哀歌・・・・・・・・・・	高村光太郎	4	李陵・・・・・・・・・・	中島敦	26
消えゆく虫・・・・・・・・・・	室生犀星	5	斜陽・・・・・・・・・・	太宰治	27
初めて「カラマゾフ兄弟」			富岳百景・・・・・・・・・・	太宰治	28
を讀んだ晩のこと・・	室生犀星	6	土佐日記(門出)・・	紀貫之	29
汚れつちまつた悲しみに……			枕草子(五月の山里)	清少納言	30
	中原中也	7	枕草子(香炉峰の雪)	清少納言	31
林と思想・・・・・・・・・・	宮沢賢治	8	源氏物語(若紫)・・	紫式部	32
笛・・・・・・・・・・	峠三吉	9	方丈記・・・・・・・・・・	鴨長明	33
学問のすゝめ・・・・・・・・	福沢諭吉	10	徒然草(神無月のころ)	兼好法師	34
五重塔・・・・・・・・・・	幸田露伴	11	徒然草(猫また)・・	兼好法師	35
舞姫・・・・・・・・・・	森鷗外	12	東海道中膝栗毛・・	十返舎一九	36
木精・・・・・・・・・・	森鷗外	13	短歌・・・・・・・・・・	中村憲吉	37
草枕・・・・・・・・・・	夏目漱石	14	静夜思・・・・・・・・・・	李白	38
こころ・・・・・・・・・・	夏目漱石	15	元二の安西に使ひするを送る		
夜明け前・・・・・・・・・・	島崎藤村	16	不識庵機山を撃つ凶に題す		
羅生門・・・・・・・・・・	芥川龍之介	17	王維		39
少年―海・・・・・・・・・・	芥川龍之介	18	頼山陽		40
出家とその弟子・・	倉田百三	19	頼山陽が十四歳の時に作った詩		
千鳥・・・・・・・・・・	鈴木三重吉	20	頼山陽		41
一房の葡萄・・・・・・・・	有島武郎	21	冬夜讀書・・・・・・・・	菅茶山	42
小さき者へ・・・・・・・・	有島武郎	22	百人一首・・・・・・・・		43